

施策番号	2504						
施策名	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備						
概要	にぎわいと潤いのある快適な市街地環境を創出し、魅力あるまちづくりを推進するため、土地区画整理事業などの面的整備手法により、安心・安全で快適な道路や公園などの公共施設を計画的、一体的に整備する。						
担当局・部室	建設局・都市整備部		共管局・部室				
上位政策	25 道と緑						
施策に関係する主な分野別計画等							

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 道路整備延長率(%)	c	e	82.34	82.57	1.83ポイント増	12.6%	e	1.00
2 公園整備進捗率 (%)	a	e	68.41	68.81	0.70ポイント増	57.1%	c	0.50
3 仮換地指定率 (%)	a	a	82.35	83.37	0.03ポイント増	3400.0%	a	0.50
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価		b	d					d

2 市民生活実感評価

設問	平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
		評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えていく。	b	b	87 12.5%	245 35.2%	216 31.0%	94 13.5%	54 7.8%	696	-
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b					-	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	都市基盤を整備することが重要であるため、客観指標評価を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

c評価以下であり、次の原因が考えられる。

令和元年度は、道路建築の前段となる設計や移転補償等が多く、「道路整備延長率」が伸びなかつたため、客観指標総合評価が昨年度同様にd評価となった。

市民生活実感調査総合評価

b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業> (令和元年度又は令和2年度新規事業)

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・仮換地指定及び道路整備の進捗の課題となっている移転補償交渉に注力し、仮換地指定等の進捗の改善に努める。また公園整備についても順次計画的に進めていく。

・土地区画整理事業施行中の地区について、着実な事業の進捗を図り、市民の方が魅力あるまちづくりを実感するような、にぎわいと潤いのある快適な市街地環境を創出していく。

施策名	2504	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備		
指標名	道路整備延長率(%)			
担当課	市街地整備課		連絡先	213-3537
1 指標の説明 土地区画整理事業による道路整備の延長率				
2 指標の意味 「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業によるバランスのよい道路整備の進み具合を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における道路整備済延長（累計）を計画道路延長で割った率 出典：事業担当課調べ		
4 数値				
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値
数値	82.34	82.57	0.23ポイント増	数値 根拠 中長期目標までの残年数内に目標を達成する ために当該年度に達成すべき数値 達成度 12.6%
	全国順位	中長期目標		
数値	-	数値 86.0	目標年次 令和2年度	達成度 96.0% 根拠 令和2年度末までの目標とする道路整備 済延長を基に算出
5 評価基準		6 基準説明 单年度の目標値に対する達成度が、 a : 80%以上 b : 60%以上～ 80%未満 c : 40%以上～ 60%未満 d : 20%以上～ 40%未満 e : 20%未満		
7 評価結果				
	平成30	令和元	令和2	
	C	e	e	
指標名 公園整備進捗率 (%)				
担当課	市街地整備課		連絡先	213-3537
1 指標の説明 土地区画整理事業による公園整備の面積率				
2 指標の意味 「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業によるバランスのよい公園整備の進み具合を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における公園用地造成完了面積（累計）を計画公園面積で割った率 出典：事業担当課調べ		
4 数値				
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値
数値	68.41	68.81	0.40ポイント増	数値 根拠 中長期目標までの残年数内に目標を達成する ために当該年度に達成すべき数値 達成度 57.1%
	全国順位	中長期目標		
数値	-	数値 69.8	目標年次 令和2年度	達成度 98.6% 根拠 令和2年度末までの目標とする公園用地 造成完了面積を基に算出
5 評価基準		6 基準説明 单年度の目標値に対する達成度が、 a : 80%以上 b : 60%以上～ 80%未満 c : 40%以上～ 60%未満 d : 20%以上～ 40%未満 e : 20%未満		
7 評価結果				
	平成30	令和元	令和2	
	a	e	c	

施策名	2504	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備				
指標名	仮換地指定率（%）					
担当課	市街地整備課		連絡先	213-3537		
1 指標の説明						
土地区画整理事業による仮換地の指定の面積率 (仮換地とは、事業途中に、事業計画に照らして従前の個々の宅地を再配置すること。)						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業による良質な宅地供給の進み具合を示す指標		算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における仮換地指定面積（累計）を保留地を除く宅地面積で割った率 出典：事業担当課調べ				
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
数値	82.35	83.37	1.02ポイント増 0.03ポイント増	数値 根拠 中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値 達成度 3400.0%		
	中長期目標					
	全国順位	数値	目標年次	達成度		
数値	-	82.4	令和2年度	101.2%		
5 評価基準						
单年度の目標値に対する達成度が、 a : 80%以上 b : 60%以上～ 80%未満 c : 40%以上～ 60%未満 d : 20%以上～ 40%未満 e : 20%未満		6 基準説明 当該指標については、住民との合意形成が前提となることから、これが80%以上となる場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。 ※達成度＝(最新数値－前回数値)／((目標値－前回数値) / 中長期目標までの残年数) × 100				
7 評価結果						
	平成30	令和元	令和2			
	a	a	a			